

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷養護学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつばやき～ 「熟成期間」

新年度を迎えて1か月余り。そろそろ子どもたちのあれこれが見えてきた頃でしょうか。

「個別教育計画」というものができてから、子どもたちと向き合う毎日に「目標」と「評価」という視点が入るようになりました。アセスメントの大切さも指摘されています。

目標を立てる時、「今期で達成できるような具体的なものを」と、よく言われます。

そこで立ち止まって考えてほしいのは、「～ができるようになる」という目標は誰のための目標か、ということです。もちろん、子どもたちのためではありますが、**それができるようになることで、本人の生活の質があがり、生きていることを楽しめるようなことにつながっていくのか**どうか。

ことばにできなくても「どうしたいと思っているのか」を大人が想像してみることは、とても大切です。スキルのアセスメントだけで、**その子の気持ちの育ちの部分**を見逃してはいないでしょうか。

教えていたことが何年もたってから、急にできるようになることがあります。

受け入れてはいても表出できるようになるまでに「**熟成期間**」があるのかもしれない。

単年度での結果を求めるあまり、**子どもの育ちの部分を見落としていないか**を常に頭の片隅に置きながら、子どもたちに向き合っていきたいものです。

*今年度も引き続き、日々の中で気がついたことをつぶやいていきたいと思います。どうぞ、よろしく。
(教育支援チーム)

瀬谷養護学校 支援室（教育支援チーム）の紹介

❖ 困った時の応援団です。まずは支援室へ。一緒に考えましょう！❖

◎OT（作業療法士）

- ◎身の回りのこと（食事、着替え、トイレなど）
 - ◎手先の使い方（ボタン、はさみ、鉛筆、学習の中での取り組み）
 - ◎身体の使い方（姿勢のこと）
 - ◎行動について（感覚の面からの支援）
- 子どもたちの「できるようになりたい！」を応援しています。
支援グッズ等、簡単に作製できるものを紹介しています。

◎ST（言語聴覚士）

- ◎言語（理解や表出、認知、文字や数の学習、聞こえ、構音、吃音など）
 - ◎コミュニケーション（やりとり、代替コミュニケーション手段の指導）
 - ◎摂食嚥下（給食や水分摂取、歯磨き指導等）
- 実態把握を通じて、どのような課題設定が良いのか、解決方法を先生方と話し合っていきます。

◎教育相談コーディネーター

瀬谷養護学校の連携支援室では、「子どもの発達で気になることがある」「将来の進路について不安がある」「学習につまずきのある子の教材教具について知りたい」など、相談内容に合わせて一緒に考えていきます！いつでもご連絡ください。

※県立の特別支援学校にはPT、心理職も所属しており、相談をお願いすることができます。

PT（理学療法士）

- 姿勢保持や運動の特徴についての実態把握
- 身体の特徴や変化への助言
- 医療ケアなどが必要な児童生徒へのかかわり方への助言
- 補装具（車いす、補装靴、体幹装具等）の使用についての助言、及び外部機関（病院等）との連携

心理職

問題行動（例：こだわりが強すぎて他の児童生徒が困ってしまう）に対する**対応の仕方**や、**学習環境の整え方**（例：視覚的な手がかりを有効に使う）、**情緒や対人関係の学びへの支援**や、**社会性を養うための支援**を一緒に考えていきます。